

PosiTector[®] GLS

Gloss Meter

 On-Gage Help Reference

| 計器上ヘルプのリファレンス |



DeFelsko[®]
The Measure of Quality

情報

このリファレンスは、PosiTector で利用可能な計器上のヘルプをまとめたものです。計器上でこれらのヘルプ項目を表示するには、計器のメニューに入り、アイコンをタッチ **i** するか、希望するメニュー項目が選択されたボタンを押 **+** 下します。

計器の使用と操作の概要については、付属の取扱説明書を参照するか、www.defelsko.com/manuals で PDF をダウンロードしてください。

PosiTectorがこれらの最新のヘルプリファレンスを含むように、計器を更新してください。取扱説明書は、www.defelsko.com/updates で入手できます。

Contents

メモリ	3
閲覧	3
切	3
入り	3
クリア	3
統計	4
統計	4
クリア	4
上下限	4
差異	4
校正設定 	5
編集	5
開く	5
新校正標準	5
削除	5
閲覧	5
校正初期化 	5
電源オン校正	6
校正標準	6
校正	6
条件設定 	7
時計設定 	7
初期化	7
単位	8
バッテリー種別 	8
音量	8
タッチスクリーン 	8
バックライト 	8
反転ロック 	8
形状	9
言語	9
機器情報 	9
ヘイズ	9
接続	10
USB	10
同期	10
USB ドライブ 	10
JSON ファイル 	11
HTML レポート 	11
自動同期	11
更新	11
ヘルプ	13

電源切断	14
------------	----

メモリ

ポジテクタ **GLS** 標準型は、測定データを記録するための内部メモリを備えています。保存された測定値は、画面上で確認したり、コンピューターにダウンロードしたりすることができます。測定値には、日付及び時刻が貼付されています。

1 バッチ中に**1,000**件（プローブ当たり）までの読取値を格納できます。

計器に測定値を格納すると、メモリアイコンが表示され、基本統計量が表示されます。

注記:

(-)を押下することにより、最終読取値を削除します。

閲覧

上下ボタンを使用して、現在、開かれているバッチの情報、統計の要約及び読取値の一覧をスクロールします。終了するには中央のナビゲーションボタンを押下して下さい。

切

メモリーを切りにして、記録を停止します（保存された測定値はメモリ内に維持）。

入り

メモリーを入りにして、測定値の記録を開始します。

クリア

全ての保存された測定値がメモリから削除されます。

統計

統計量の構成及び上下限モードのメニューオプションです。

統計

統計モードは、測定中における平均、標準偏差、最大/最小厚及び読取数を連続に表示/更新します。

選択時、統計アイコン及び統計の要約が画面上に表示されます。

(-)ボタンを押下すると、最終読取値を無視します。(+)ボタンを押下すると、統計量をクリアします。

クリア

全ての統計量及び上下限表示がクリアされます。

上下限

測定値が指定した制限値を超えた場合、視覚的及び音響的に警告することができます。

上下限警告が選択されている時、現在の下限設定が表示されます。(-)あるいは(+)ボタンを使用して、調整します。次を選択して、この値を確定させます。現在の上限値が表示されます。上記を繰り返して、上限値を調整してください。

各測定を設定した上下限值と比較します。測定結果が制限値内であれば、計器はピープ音を鳴動します。読取値が下限値より下であれば、単一の低音を鳴動し、上限値を超えている場合、高音を鳴動します。(+)ボタンを押下すると、上下限の読取値をクリアします。

統計アイコンが画面上に表示されます。

差異

現在の読み取り値と保存されている基準値との差を自動的に計算します。

校正設定

付属の光沢校正標準（タイル）またはユーザー提供の校正標準を使用して、ポジテクタ **GLS**プローブを既知の標準器に校正します。
プローブを既知の標準に置き、「校正」メニュー項目を選択します。

または、校正設定メニューで 電源オン校正が選択された場合、計器の電源が入るたびに校正が実行されます。

編集

保存されている標準のリストから校正標準を選択し、その光沢単位の値と名称を編集します。

注記:

保護ベースプレート内の校正標準は、編集できません。

開く

保存された標準のリストから校正用標準を選択します。
リストの一番上にある校正標準は、ポジテクタ **GLS**プローブの保護ベースプレート内に含まれているものです。

新校正標準

新しい校正基準をメモリに格納します。

画面上のキーパッドまたは **(-)** や **(+)** を使用して、光沢の単位 **(GU)** の値を調整します。

画面上の **QWERTY** タッチキーボードを使って、標準を識別するための名前またはシリアルナンバーを入力します。

了承を選択し、画面の指示に従って目的の光沢校正用標準を測定します。

削除

統計量の構成及び上下限モードのメニューオプションです。

閲覧

保存されている規格とその光沢単位の値の一覧を表示します。

校正初期化

ユーザー校正の調整値をすべてリセットし、接続されているプローブの工場校正を復元します。

電源オン校正

選択されている場合、計器は電源が入るたびに、プローブが最後に使用されたときにアクティブだった校正標準を使用して、校正を実行します。

注記:

電源オン校正は、アクティブな校正標準が保護ベースプレートに組み込まれている場合のみ動作します。

校正標準

用途によっては、ポジテクタ

GLSプローブをプローブ付属の標準とは別の校正用標準で校正することが望ましい場合があります。

このメニューから最大**99**個の校正標準を追加・管理できます。

校正

付属の光沢校正標準（タイル）またはユーザー提供の校正標準を使用して、ポジテクタ **GLS**プローブを既知の標準器に校正します。

プローブを既知の標準に置き、「校正」メニュー項目を選択します。

または、校正設定メニューで 電源オン校正が選択された場合、計器の電源が入るたびに校正が実行されます。

注記:

校正用標準がきれいできずの出ない状態であることを確認してください。標準器を清掃するには：

保護用のベースプレートを下から押さえて外してください。

付属のレンズクリーニングワイプで、標準の表面をそっと拭きます。

校正用標準を調べて、乾燥し、清潔で、ゴミや欠陥がないことを確認します。

傷のある標準は、プローブの校正に使用せず、交換する必要があります。

クリーニングワイプは再利用しないでください。一方向にのみこすり、

クリーニングのたびに新しい拭き取り材を使用すると、最良の結果が得られます。

警告:

この手順において、他の薬品やクリーニングワイプを代用しないでください。

交換用のレンズクリーニングワイプをご用意しています。

条件設定

計器の構成オプションを設定します。

時計設定

全ての測定値には、メモリの格納時に日付及び時刻（24時間フォーマット）が貼付されます。それゆえ、このメニューオプションを使用して現在の日付及び時刻を維持することは重要です。上下ボタンを使用して、スクロールし、(-) 及び (+) で値を調整します。計器の日付及び時刻を計器情報及びメインメニューの上部で閲覧することができます。

初期化

工場設定に戻り、計器を既知の状態に戻ります。詳細は次のとおりです。

すべてのバッチ、保存されたデータセット、バッチ名、および画面キャプチャが消去されます。

プローブに付属していたデフォルトの校正標準が選択され、その他の校正標準はすべて削除されます。

メニューの設定は、次のとおりに戻ります。

メモリ = 切 (OFF)
統計 = 切
上下限モード = 切 (OFF)
差異 = 切
スキャンモード = 切 (OFF)
自動減光(Auto Dim) = 入 (ON)
Bluetooth 及びストリーム = 切 (OFF)
BLE キーボード = 切 (OFF)
WiFi 及び アクセスポイント = 切 (OFF)
電源オン校正 = 切
ディスプレイ = なし (None)

電源を切って、ハードリセットを実行します。電源切った後、数秒待って、初期化シンボルが表示されるまで、中央のナビゲーションボタン及び(+) ボタンを同時に押し続けると、ハードリセットが実行されます。この操作により、工場出荷状態に戻ります。メニューの初期化に加えて、下記の項目が復帰します。

Bluetooth ペ어링情報がクリアされ、メニュー設定は、次の状態に戻ります。

単位 = 光沢

タッチスクリーン = 入 (ON)
反転ロック = 切 (OFF)
自動同期 (Auto Sync.net) = 入 (ON)
音量 = 中位
言語 = 英語
バッテリー種別 = アルカリ電池
バックライト = 標準
Bluetooth スマート = 切 (OFF)
USB ドライブ = 入 (ON)

注記:

日付、時刻、WiFiは初期化に影響されません。

単位

光沢単位 (GU) または % 反射率のいずれかを選択します。

バッテリー種別

アルカリ電池、リチウム電池あるいはNIMH電池（充電式電池）の中から、使用している電池を選択します。バッテリー状態のインジケータは、選択された電池に基づいて計算されます。計器に使用されている電池が誤っていても損傷は受けません。

音量

内蔵のスピーカの音量を調整します（切、低音量、中音量、高音量）。

タッチスクリーン

タッチスクリーン機能を無効にすることができます。全ての計器機能も、ナビゲーションボタンで制御可能です。

バックライト

ディスプレイの明るさ（日中、通常、夜間）を選択します。自動減光が有効（デフォルトは有効）の場合、バッテリー消費を防ぐために、一定時間、何の操作も行われない後、若干、減光します。下ボタンを押下すると、ディスプレイを明るくします。

反転ロック

現在の方向にディスプレイをロックすることにより、自動反転を無効にします。

形状

(ポジテクタ GLS2060 及び GLS206085 モデルのみ)

測定時に表示する角度を選択します。

言語

選択された言語で、ディスプレイ表示及び印刷される文字を変換します。

機器情報

計器のモデル番号、本体のシリアル番号、プローブ種別及びプローブシリアル番号、PosiSoft.net の登録キー、読取值保存用の残メモリ容量、日付、時刻及びソフトウェアパッケージを表示することができます。

セキリティ目的のため、PosiSoft.net に計器を追加するには、登録キーが必要です。

ヘイズ

(ポジテクタ GLS2060 及び GLS206085 モデルのみ)

測定中にヘイズを表示・記録する場合は、このオプションを選択します。ヘイズは、60°と20°での光沢の測定値の差として計算されます。

注記:

ASTM D4039に準拠したヘイズは、60度鏡面光沢値が70を超える非金属試料に適用されます。

接続

計器に対する通信及び接続オプションを構成します。

USB

添付の**USB**ケーブルを使用して、計器を**PC/Mac**に接続します。
汎用のウェブブラウザ/ファイルエクスプローラあるいは**PosiSoft Desktop**を使用して読取值及びグラフを閲覧及び印刷を実行します。

注記:

添付の**USB**ケーブルを接続すると、**USB**ケーブルから電源が供給されます。
バッテリーが使用されず、本体は、自動的に切れません。

同期

同期が選択されていると、**PosiSoft.net (PosiSoft Desktop**
が動作している**PC**への**USB**接続が必要)と格納されている測定データを即座に同期します。
。

もう一つの方法として、**USB**接続メニュー内から自動同期(**Auto Sync.net**)を選択し、自動的に**PC**と同期を取ります。接続中にメモリ追加された測定データは、**USB**ケーブルが外され、再接続された時、もしくは同期(**Sync.net Now**)を選択すると、同期されます。

注記:

PosiSoft.net と測定データと同期をとるには、**PosiSoft Desktop**の**USB**接続が必要です。

USB ドライブ

USBドライブが有効の時、ポジテクタは、
USBフラッシュドライブ及びデジタルカメラと同じように保存データを読み出す
簡単なインターフェースの**USB**大容量デバイスとして認識されます。**USB**ドライブは、
保存されたデータを**PosiSoft Desktop**に取り込むのに必要です。
。添付の**USB**ケーブルを使用して**PC**に接続すると、
PosiTectorと呼ばれる仮想ドライブを操作することにより、
どの**PC**からでもメモリ内測定データを閲覧することができます。

注記:

添付の**USB**ケーブルを接続すると、**USB**ケーブルから電源が供給されます。
バッテリーが使用されず、本体は、自動的に切れません。

JSON ファイル

有効設定(デフォルト)の場合、PosiSoft USBドライブ内で、JSONファイルが利用できます

。データベース及びカスタムソフトウェアへのファイル解析が可能となります。

注記:

オプションを無効にすることにより、USBに最初、接続された時、PCがPosiTectorを認識する時間を減少させることができます。

HTML レポート

有効(デフォルト)設定の場合、HTML

フォーマットのレポートをルートディレクトリ内のindex.htmlあるいは

START_HERE.htmlを選択することにより、閲覧できます。オプションで、

各バッチフォルダ内のテキストファイル(.txt)へのアクセスが可能です。

保存測定データ及びグラフを汎用ウェブブラウザあるいはファイルエクスプローラを使用して閲覧あるいはコピーできます

。

注記:

オプションを無効にすることにより、USBに最初、接続された時、PCがPosiTectorを認識する時間を減少させることができます。

自動同期

有効の場合、PosiSoft Desktop が動作しているPCに接続した時に、

測定値は自動的にPosiSoft.net と同期します。接続中にメモリ追加された測定データは、

USBケーブルが外され、再接続された時、もしくは同期(Sync.net

Now)が選択された時に同期されます。

注記:

PosiSoft.net と測定データと同期をとるには、PosiSoft DesktopのUSB接続が必要です。

更新

計器のソフトウェア更新が必要かどうかを判断します。

計器のソフトウェア更新を実施するために、計器は、

ポジソフト・デスクトップ (PosiSoft Desktop)

が動作しているインターネット接続されている必要があります。

www.defelsko.com/update 参照。

警告:

計器は更新後、ハードリセットされます。全ての測定データは、メモリから消去されます。

ヘルプ

メニューオプションがハイライトされている際、計器のヘルプを示す

(i)アイコンが使用できます。(+) ボタン押下あるいはヘルプアイコンをタッチして、ヘルプを表示します。計器の更新を実行し、計器のヘルプ情報が最新になっているか確認して下さい。

全てのヘルプ項目を含むPDFがwww.defelsko.com/helpで利用できます。

メニュー操作

メニューを操作するために、計器の電源を入れ、次に中央のナビゲーションボタンを押下します。メニュー操作をするために、キーパッドあるいはタッチスクリーンを使用することができます。必要に応じて、条件設定>タッチスクリーンメニューでタッチスクリーン機能を無効とすることができます。

該当項目をタッチあるいは上下ボタンを使用して希望のオプションをハイライトさせます

。次に中央のナビゲーションボタンを押下して決定してください。

1頁以上のメニューの場合、現在の頁番号がページメニュー名の下部に表示されます。最初のメニュー項目の頁が表示されている際、上ボタンを使用してページの移動あるいは最終の頁が表示されている際、下ボタンを使用して移動します。タッチスクリーンを使用している際、左あるいは右矢印を使用して、あるいは上下にスワイプして頁間を移動、して下さい。

(-) ボタン押下あるいは右側にスワイプして、前頁に戻ってください。終了を選択して、メニューを閉じてください。

>付メニューオプションは、メニューオプションに対してサブメニューがあることを示します。オプションを選択して、サブメニューを表示します。

スクリーンキャプチャ

(-) 及び (+) ボタンを同時に押下すると現在の表示画面を保存できます。

100件のスクリーンキャプチャがメモリに保存され、PCに接続された時、PosiSoft USBドライブ経由で、アクセスすることができます。

電源切断

電池寿命を保護するために、計器は**5**分間何も操作されない後、自動的にスリープ状態となり、スリープモードに入ります。スリープモードでは、計器はより速く、電源オンします。測定部材あるいは測定箇所を変更する際、便利です。**4**時間、計器の操作が行われない時、完全に電源オフとなります。ますもう一つの方法として、メインメニューで、電源切を選択します。全ての設定は保存されています。

DeFelsko®

The Measure of Quality



www.defelsko.com

© 2023 DeFelsko Corporation USA
All Rights Reserved

限定保証、唯一の救済措置、限定責任

DeFelsko の唯一の保証、救済、および責任は、同社のウェブサイト www.defelsko.com/terms に記載されている明示的な限定保証、救済、および限定責任となります。

本マニュアルの著作権はすべて保護されており、DeFelsko Corporation の書面による許可なく、その全部または一部をいかなる方法によっても複製または転送することを禁じます。

DeFelsko、PosiSoft、および PosiTector は、米国およびその他の国で登録された DeFelsko Corporation の商標です。その他のブランド名または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

本マニュアルに記載された情報が正確であることを保証するために、あらゆる努力が払われています。DeFelsko は、印刷の誤りや誤字について責任を負うものではありません。